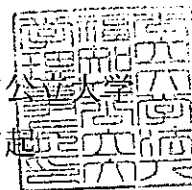


福公大発第 175 号

令和元年 8 月 6 日

公立大学法人福知山公立大学評価委員会  
委員長 青山 公三 様

公立大学法人福知山公立大学  
理事長 井口 和起



令和元年 7 月 30 日付けで通知のありました「平成 30 事業年度公立大学法人福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果案」について、公立大学法人福知山公立大学に関する年度評価実施要領に基づく意見はありません。

しかし、番号 19 に係る事項について別紙のとおり説明資料を提出します。

別 紙  
令和元年 8 月 6 日

令和元年 7 月 30 日付けで通知のありました「平成 30 事業年度公立大学法人 福知山公立大学の業務の実績に関する評価結果案」の番号 19 について、下記のとおり補足説明をします。

#### 番号 19 の説明

教学情報システムの導入にあたっては、当初のスケジュールよりも時間を要し、遅れが生じた。この理由としては、①システムの導入に想定以上に作業時間を要したこと、②システム導入の作業工程が情報学部の申請資料作成業務と重なったこと、③システム導入の担当職員が退職し、業務の引継ぎに時間を要したこと、④全体をとおして工程管理ができていなかったこと等が挙げられる。

教学情報システムは、15 のシステムで構成されているが、基本情報は全て入力済みである。10 システムは、平成 31 年 4 月から稼働しており、そのための準備は平成 30 年度中に完了している。稼働後、4 ヶ月を経過しているが、大きなトラブルなく、順調にシステム導入が行われている。

現在、2 システム（Web 成績登録、Web アンケート）は、7 月から運用を開始し、検収中（8 月迄に完了予定）であり、3 システム（入試情報、センター試験、Web シラバス）については、2020 年 2 月迄に検収が完了する予定である。

以上